

## WL04(Aタイヤ)&WL06(Dタイヤ) ウィンドランチャー 取扱説明書

このたびはウィンドランチャーをお買い上げいただきありがとうございます。  
組み立てる前に下記を良く読んで組立をしてください。

箱に入っているパーツを確認します。

NO	品番	品名	数	税別価格/1個
1	WL04-A	WL04 前フレーム 1200mm	1	¥2,100 +税
2	WL03-B	受けフレーム 680mm	2	¥1,500 +税
3	WL03-C	車軸フレーム 500mm	1	¥1,500 +税
4	WL04-D	WL04 後受け高さフレーム 300mm	1	¥1,200 +税
5	WL04-E	WL04 前受け高さフレーム 315mm	1	¥1,200 +税
6	Z402	クッションチューブ 250mm	4	¥650 +税
7	IB040038AB	38角ブラケット38mm 3穴 (旧品番S-535)	2	¥1,200 +税
8	IB040090AC	38角ブラケット90mmジョイント (旧品番OL-11N)	2	¥2,000 +税
9	IB040120AD	38角ブラケット120mmヒールブラケット (旧品番S-561)	1	¥2,500 +税
10	OSIN717-5	IN717-5 イノーベルト25mmx4M 黒	2	¥900 +税
11	Z506-4	車軸シャフトWL03, BY300, 50, 520	2	¥1,750 +税
12	JS208	車軸シャフトカーJ-130S, BY300, WL	2	¥500 +税
13	TA30A	Aタイヤヘアリング 4.80/4.00-8ホス幅82mm	2	¥8,200 +税
13	TA30D	Dタイヤヘアリング 410/350-5ホス幅82mm	2	¥4,200 +税
	P04-6-55	SUS六角ボルト6-55	18	¥70 +税
	P04-6-45	SUS六角ボルト6-45	2	¥60 +税
	P08-06	SUS蝶ナットM6	2	¥130 +税
	P07-06	SUSナットM6	18	¥15 +税
	P05-06	SUSスプリングワッシャーM6	18	¥7 +税
	Z521	Dリング	2	¥240 +税

■使用する工具  
モンキーレンチ  
◎スパナ10番

WL04(Aタイヤ)  
WL06(Dタイヤ)

■組立をする前に完成写真をよく見て、全体のイメージを頭の中で作ってください。  
各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。

### ■組立手順

#### ■フレーム組立手順

##### ●前受け部

前受け高さフレーム 300mmに連結固定金具Aを付け受けフレーム 680mm を通しボルトM6-55、スプリングワッシャー、ナットにて固定します  
クッションチューブを受けフレームに通して板ゴムコードをパイプに通します。

(クッションチューブは水に濡らすと入り易いです)

※前受け高さフレームの中央にある穴2個は別売自転車牽引オプションパーツ取付用です。

##### ●曲げ部

前受け高さフレームと前フレームをヒールブラケットでM6-55、スプリングワッシャー、ナットにてジョイントします。

##### ●後受け部

後受け高さフレーム 300mmに連結固定金具Aを付け受けフレーム 680mm を通しボルトM6-55、スプリングワッシャー、ナットにて固定します  
クッションチューブを受けフレームに通して板ゴムコードをパイプに通します。

(クッションチューブは水に濡らすと入り易いです)

※後受け高さフレームの中央にある穴2個は別売自転車牽引オプションパーツ取付用です。

##### ●前フレームジョイント部

後受け高さフレームにジョイントブラケットを取り付けて前フレームをジョイントします。

この部分は分解ができるようボルトM6-55と蝶ナット2個を使用します。

##### ●車軸部

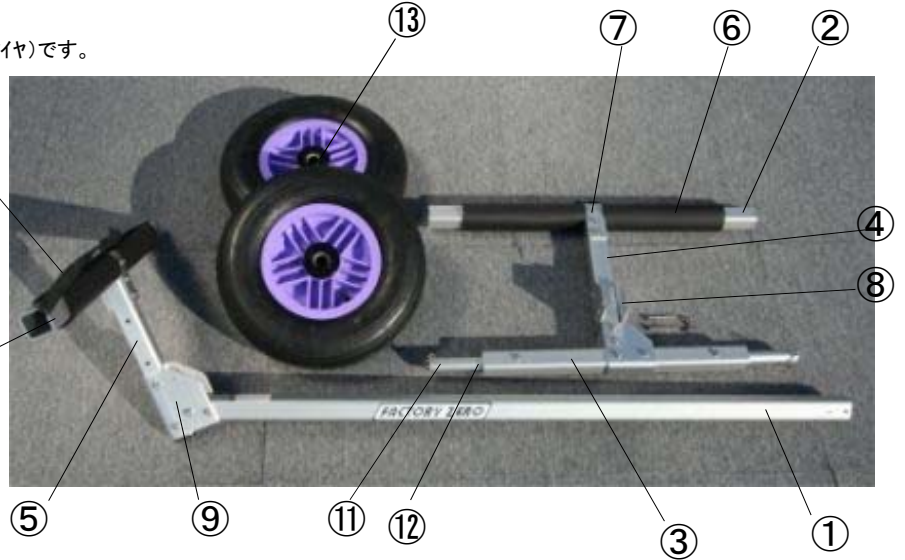
車軸フレームに車軸シャフトカーと車軸シャフトを入れボルトM6-45を差しスプリングワッシャー、ナットで固定します。  
最後に車軸シャフトにタイヤを差し込んでDリングを差し完了です。

#### ■使用上の注意

- 取扱説明書、パーツ表等は大切に保管してください。
- このランチャーはウィンドサーフィン、ログホート用ですので無理な積載は破損の原因になりますのでおやめください。
- 動力での牽引は絶対にしないでください破損の原因になります。
- ご使用前には必ずボルト & ネジ類のゆるみがないか確認してください、ゆるんだまま使用しますと事故、破損の原因になります。
- ご使用前には必ずボルト & ネジ類のゆるみがないか確認してください、ゆるんだまま使用しますと事故等危険です。
- すり減った板ゴムでのご使用は大変危険ですので、必要に応じて交換してください。
- 艇の重心はタイヤの少し前になるように乗せてください。
- 素手足で不用意にパイプのカット部等触れますとケガの原因となります、必ずグローブ & パーツを着用のうえご使用ください。
- 誤った組立て、もしくは使用方法での苦情には応じかねますのであらかじめご了承ください。

# WL04(Aタイヤ) & WL06(Dタイヤ) ウィンドランチャー

写真はWL04(Aタイヤ)です。



## 完成写真

受けフレーム 連結固定金具A 前受け高さフレーム



- 前受け部  
前受け高さフレーム 300mmに連結固定金具Aを付け受けフレーム 680mmを通します。  
クッションチューブを付け板ゴムコードをパイプに通します。  
※前受け高さフレームの中央にある穴2個は別売自転車牽引オプションパーツ取付用です。
- 曲げ部  
前受け高さフレームと前フレームをヒールブラケットでジョイントします。

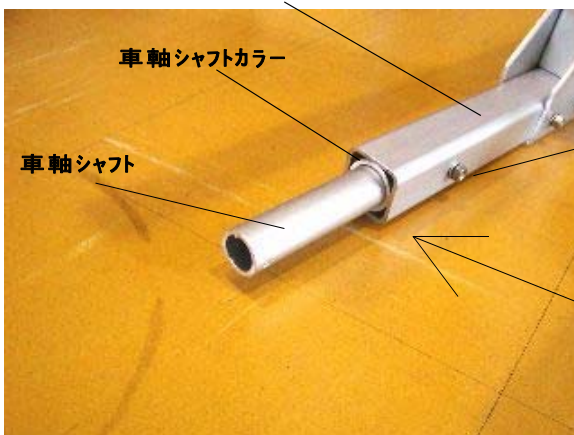
受けフレーム 連結固定金具A 後受け高さフレーム



- 後受け部  
後受け高さフレーム 300mmに連結固定金具Aを付け受けフレーム 680mmを通しクッションチューブを付け板ゴムコードをパイプに通します。  
(板ゴムを通す際、中央のネジにかからないように通してください、切れる恐れがありますので)  
同じく下側には車軸フレームを連結固定金具Aで取付ます。  
※後受け高さフレームの中央にある穴2個は別売自転車牽引オプションパーツ取付用です。
- 前フレームジョイント部  
後受け高さフレームにジョイントブラケットを取り付けて前フレームをジョイントします。  
この部分は分解ができるよう蝶ナット2個を使用します。



車軸フレーム



- 車軸部  
車軸フレームに車軸シャフトカラーと車軸シャフトを入れホルトM6-45を差しスプリングワッシャー、ナットで固定します。

ホルトM6-45を差しスプリングワッシャー、ナット



最後に車軸シャフトにタイヤを差し込んでDリングを差し完了です。

## タイヤご使用上の注意

このたびは当社製品のお買い上げまことにありがとうございます。  
当社エアータイヤにつきまして下記のことに注意してご使用下さい。

### TA30F / TA30G / TA30J (F タイヤ、G タイヤ、J タイヤ) (ジェットランチャー、ジェットバンク、L700 等に使用)

- チューブレスタイヤです、チューブは入っていません。
- タイヤ空気圧は約 0.8KG~1.0KG 位にてお願い致します。特に夏場は直射日光にて内圧が高まります必ず 0.8KG 以下でご使用下さい。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください、車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5KG 以下にして下さい、又、停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が下がりますとタイヤの内圧が下がりチューブレスタイヤの為空気が抜けてしまう場合が有りますので船を載せて保管される場合は時々チェックをして下さい。
- タイヤが潰れたまま長期放置しますとタイヤがヒビ割れし空気再注入不可能となってしまいます、長期保管の場合は台車の下にブロック等を入れておくと良いでしょう。
- エアー漏れでも早期に対処していただければ十分再生いたしますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。

### TA30A(A タイヤ) (アルミランチャー、トランスムドロー等)に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8KG~1.0KG 位にてお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります、又冬場は逆に低温にて空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください、車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5KG 以下にして下さい、又、停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化が早まりますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。
- 交換用タイヤ(外側) チューブ、別途販売しています、適宜交換下さい。

### TA30D(D タイヤ) (マルチドロー、Z071 前輪、等)に使用)

- タイヤ空気圧は約 1.0KG~1.5KG 位にてお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります、又冬場は逆に低温にて空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください、車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5KG 以下にして下さい、又、停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化が早まりますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。

### 上記全てのタイヤについて

- 車軸部にベアリングが内蔵してあります、ベアリング部にはグリス等塗布しないようにして下さい、砂、埃、が付着し磨耗の原因となります、ベアリング分は良く水洗して下さい。
- ベアリング部も消耗、紛失した場合は交換用部品がございますので、補修をしてください。
- 空気を入れる場合がソリスタント等においてある自動車、バイク用、空気入れで入れられます一般用自転車用空気入れではバルブ形状が合いません、詳しくはHPご覧ください。

### 空気圧換算表

kg	Kpa(キロパスカル)	pa(パスカル)	PSI(ポンド)	Bar(バール)
1	100	100000	14.2	1